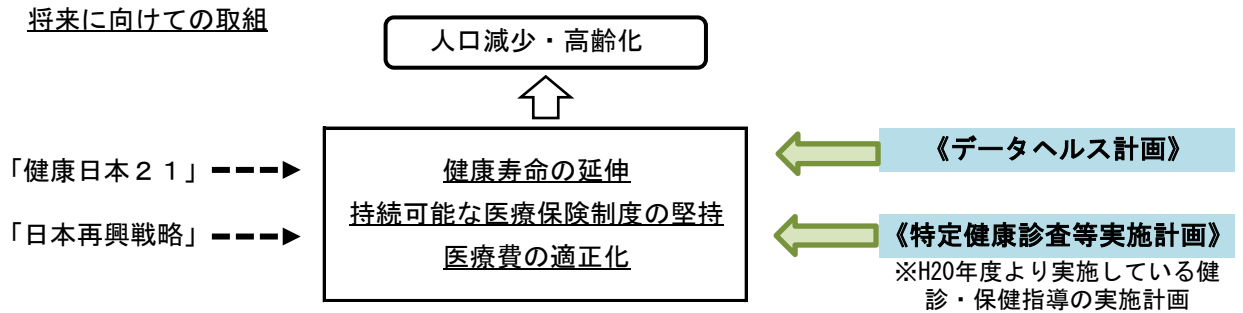


昭島市国民健康保険データヘルス計画・特定健康診査等実施計画について

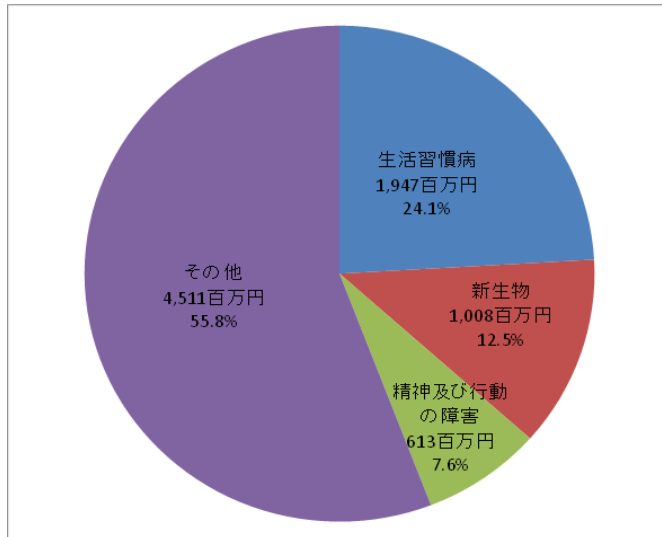
平成26年、保健事業の実施等に関する指針が改正され、データヘルス計画の策定が全ての医療保険者（後期高齢含む）に求められました。医療機関のレセプトなど、情報の電子化が進み、正確・簡易に状況の分析が可能となってきたことから、電子化されたデータを用いて、より効果的な保健事業の実施、取組が求められることとなったものです。



◇昭島市国保被保険者の状況と特徴 — 平成27年度に行った分析 —

これまでの特定健診データ、又平成26年度のレセプトデータなどを使って分析を行ったところ、次の様な状況が表れました。

・昭島市国保の総医療費の主な構成要素（平成26年度）



現在、医療費に占める割合が高いと言われている生活習慣病に係る費用が、昭島市でも、24.1%と大きな割合を占めています。

その他にも特徴として

- ・生活習慣病における基礎疾患は、高血圧症が最も多く、次いで脂質異常症となっている
- ・生活習慣病における重症化疾患は、虚血性心疾患が最も多く、次いで脳血管疾患となっている
- ・生活習慣病における重症化疾患では、一人当たりの医療費で比較をすると糖尿病合併症が最も高額となる
- ・特定健診未受診者の医療費は、受診者より明らかに高額となっている
- ・特定健診等の受診利用状況は、健診は例年約50%前後と低くはない数値だが、保健指導の利用率は10%前後となっている

◇昭島市国保としてのこれまでの取り組み

分析結果から得られた現状と課題を踏まえ、被保険者の健康増進によって医療費適正化、さらには将来の健康寿命の延伸を目指していきます。具体的には、平成28年度から特定健康診査の受診勧奨内容充実させました。※

